

## 初心者における直腸検査習熟のための効率的な指導法について

伊 東 繁 丸

(第41回西日本畜産学会講演要旨) 1990. 11. 6. 佐賀市はがくれ荘

**目 的**：牛の人工授精および受精卵の採卵・移植においては直腸壁を介して生殖器を自由に確認・操作することが不可欠である。このため直腸検査は牛の繁殖では基本技術であるといえる。初心者にとって、生殖器の確認・操作は困難な技術であり、習得するまでにはかなりの経験を積むことが必要である。このため入来牧場では畜産学科および獣医学科の実習時に直腸検査の指導を行っている。

本調査はこれらの学生に対して直腸検査を効率的に指導するための基礎的資料を得ようとして行ったものである。

**方 法**：1988年5月の獣医学科3年生および7月の畜産学科1年生の実習並びに11月の畜産学科4年生の人工授精講習会において、延べ133頭の牛を用いて直腸検査実習を行った。直腸検査開始時から生殖器各部位を確認するまでの所要時間、子宮頸を把持するまでの所要時間および生殖器確認成功率を調査した。得られたデータについて、実習生の学年間、男女間および用いた牛のBody Condition Score (BCS) 間の違いおよび成功率と関連する諸要因について検討した。

**結 果**：生殖器各部位の確認に要する時間は、学年が進む程短くなる傾向が認められた。BCSが3の牛では確認に要する時間が短かった。一方、BCSが5の牛は右卵巢および子宮頸の把時に要する時間が長くなった。子宮角、子宮外口および右卵巢確認のための所要時間と成功率には値は低いもののいずれも正の相関（それぞれ0.262 \*\*， 0.209 \*， 0.256 \*\*）が認められた。また、確認のために要した最長時間と成功率との間にも0.387 \*\*\*の相関が認められた。

以上のことから、初心者直腸検査を効率的に指導するには、

- (1) 実習にはいる前に生殖器についての知識を充分つけておくこと。
- (2) 牛はできるだけBCSが3程度のものを使うこと。
- (3) 子宮角、子宮外口および右卵巢の確認を重点的に指導すること。
- (4) 一人当たりの時間が十分に確保できるようにすることなどが重要であると考えられた。